

# 大きな屋根の小さなすまい



## 建物概要

新築/改修	新築	建物用途	専用住宅
所在地	大分県大分市	敷地面積	364.39㎡
地域区分	7地域	建築面積	65.11㎡
竣工年月	2018年4月	延べ面積	57.24㎡
設計者	木のすまい設計室	構造	木造
施工者	寺岡建築	階数	地上1階

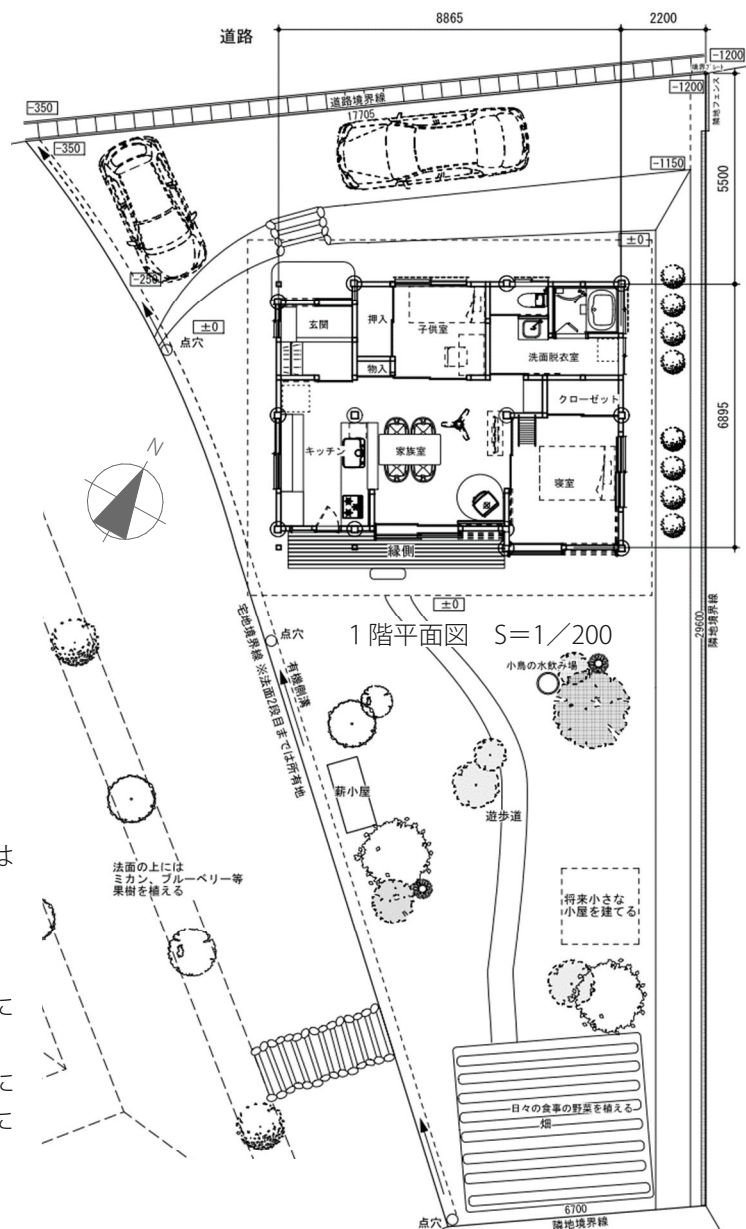
## 設計コンセプト

100坪の敷地に、たった18坪の小さな平屋の住まいである。職人がつくる伝統的な木組みと土壁の住まいとなっており、大工による手刻み、金物を一切使わない伝統構法、左官による竹小舞下地の土壁、漆喰仕上げとしている。

新築にあたり、国土交通省の「平成28年度 サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）」の補助金採択を受け、気候風土に応じた住宅の建築技術・工夫による低炭素化が評価された。現在では、省エネ基準への適合が困難である伝統的な木造住宅の選択肢として「気候風土適応住宅」という枠組みができています。

## グリーン化の取り組み

- ・温暖な気候で、沿岸からの採風に恵まれているため、開口部には木製格子網戸を設け、夏季就寝時の通風に配慮。
- ・基礎、床回りは、石場建て工法を採用し、床下から外気（冷気）を室内に呼び込む採風口を設けている。
- ・敷地には土間コンクリートを使用せず、雨水を浸透させるように計画しており、草を生やし、夏の冷却効果に期待できる。
- ・現行の省エネ基準では評価が難しい、地域の気候風土への適応については、多層構成の建具、土壁塗り、薪ストーブ、地元職人による工事、地域産材の使用を講じている。





北側 外観



南側 外観



家族室に架かる8mの杉太鼓梁



開口部は多層構成で障子と格子網戸を設置

## 外皮・設備仕様

断熱	屋根 鉋屑断熱材 t 100
	外壁 ウールプレス t 30
	床 ウールプレス t 40 + スタイロフォーム t 50
基礎	石場建て工法
開口部	窓 木製建具 単板ガラス アルミサッシ 複層ガラス

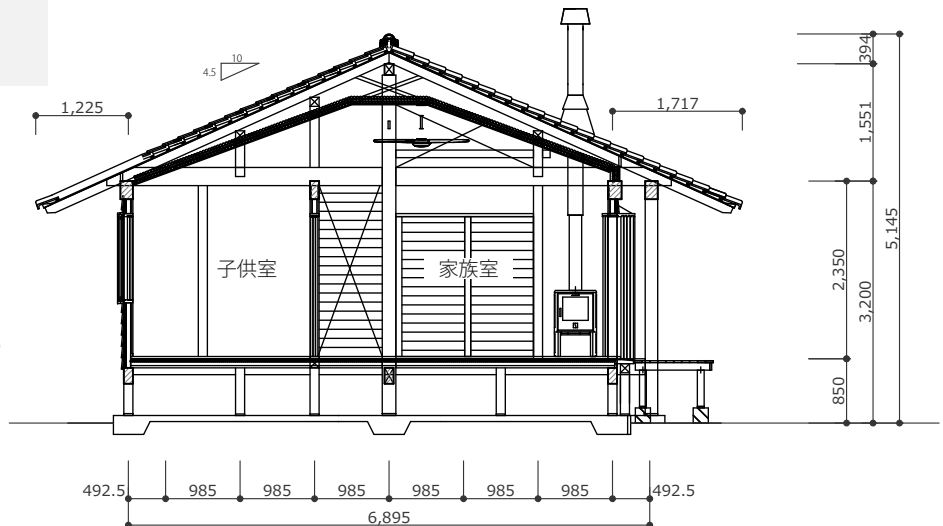
外皮平均熱貫流率 UA値 1.08 W/m<sup>2</sup>・K  
 一次エネルギー消費量 62.5 GJ/戸・年  
 一次エネルギー消費性能 BEI 0.99  
 (※鉋屑断熱材の熱伝導率は、実験値を使用)

### 気候風土適応住宅

地域の気候及び風土に応じた特徴を多面的に備えている住宅であることにより、外皮基準に適合させることが困難であるものとして、国土交通大臣が定める基準に適合する住宅のこと。



出展：職人がつくる木の家ネット



矩計図 S=1/100